

History

自然の鼓動が聞こえはじめる春、空も緑も息づく夏、すずやかな風と木樹の彩りある秋そして静寂と神秘の季節の冬、昭和34年開場の長い歴史が生み出す大きな樹木に囲まれた広いフェアウェイと手付かずの自然のアンジュレーション、左右のサイドヒルやドックレグなど多変な変化でプレーヤーを魅了する迫力あるホールが待っている。

1958

6月25日

地元の熱心な要望により古くから保養地として名高い標高600メートルの伊香保の地に日本土地山林(株)の所有する用地を借用して群馬県内初の会員制ゴルフ場として(株)伊香保カントリー倶楽部が創立され初代社長に東武鉄道株式会社社長の根津嘉一郎氏が就任



10月9日

鹿島建設(株)と工事契約締結、遙かに赤城山の雄姿、子持山、小野子山そして遠方に谷川連邦を望む榛名山系の水沢山麓の25万坪の広大な土地に主力は人力の「モッコ」や「すき」「くわ」などを使い自然な地形をそのままに活かした手作りのコースとして造成工事が始まる。



1959

8月30日

好天に恵まれた伊香保の地に高松宮殿下、同妃殿下をお迎えし、竹腰群馬県知事や会員450名が参加した中、竹腰群馬県知事挨拶など開場記念式典の後、記念競技大会を開催した。1番ホールに張られた紅白のテープに妃殿下がハサミを入れられたあと、殿下による見事なフォームで第一球を飛ばされ、つづいて中曽根国務相のショットのあと会員240名と両陛下も加わって初のハーフトーナメントを開催し開場した。ちなみに開場当時のプレー費用は会員400円、非会員 平日1,000円、日祭日2,000円となっていた。



1968

6月13日 関東ゴルフ連盟加盟

7月30日 日本ゴルフ協会入会

1970

6月 オートキャディカート20台を導入、これによりゴルフバックの運搬が人力から電動カート化された。

1974

8月25日

新クラブハウスが完成し昭和34年の開場以来使用していた旧クラブハウスから引越し、新クラブハウス落成記念祝賀会、記念コンペを開催した。当日は雨の為、9ホールによるストロークプレーとなったが192名が参加した。



1977

7月9日

群馬県オープンゴルフ選手権大会が7月9日から10日の2日間で開催され、予選ラウンドで8アンダーをマークした草壁政治プロが優勝。このときのスコアー64は現在でもコースレコードとなっている。

1979

9月20日

関東オープン選手権大会を9月20日から23日までの4日間の日程で参加選手153名(内アマ44人)で開催され、初日、2日目と首位を守った小林富士夫にかわり3日目には尾崎将司が6位から一挙にトップに躍り出た。最終日、65のベストスコアーをマークした天野勝が10アンダーで公式戦初優勝を飾った。ベストアマには金子柱意が入った。



2001

7月 3日 5人乗り電磁乗用カート50台導入

2007

8月30日 関東ミッドアマチュア選手権開催

2009

7月29日 日本プロゴルフゴールドシニア選手権、日本プロゴルフグランドシニア選手権開催
10月5日 関東シニア選手権開催

2010

5月18日 関東倶楽部対抗群馬地区予選開催

2023

5月18日 関東倶楽部対抗群馬地区予選開催